IRYO Vol. 58 No. 12 (702−704) 2004. 12

(2) 吉田学園における看護学校の運営について

木　村　正　道

(2) MANAGEMENT OF THE NURSES' SCHOOL IN YOSHIDAGAKUEN

Masamichi KIMURA

本日の結論は次の2点.

1．吉田学園は複数校化戦略による，各学校の共通部分を集約化＝効率化することで発展.

2．学校運営は教育の質等々重要なことがあるが，規模の利益を得られる大きさがある.

最低，200−300人の学生数の在籍が望ましい.

吉田学園の沿革と学校群

吉田学園の前身は昭和31年に天塩郡遠別町で珠算学校として誕生．昭和51年に専修学校設置基準が公布されたことを受け，校名を札幌経理専門学校に改称し，昭和53年に個人立から法人立へと組織変更する．昭和62年にコンピュータのプログラマーを養成する札幌電子専門学校を設立し，ここから，吉田学園の複数校化戦略が始まっていく.

吉田学園は，札幌経理，デジタルステージ札幌，北海道自動車整備，札幌社会体育，札幌総合福祉，札幌総合医療，北海道保健看護，ビューティステージ札幌，北海道動物看護（以上専門学校は略）の9校．学生総数は2,330人である.

保健看護専門学校は札幌総合医療専門学校の看護学科として設立され，昨年，北海道保健看護専門学校として独立．現在，総合医療の看護学科に45名，保健看護に83人の学生が在籍している.

組　　織

図1参照

財　務　指　標

図2は，収入全体に占める学生納付金と補助金がどの程度になっているかを見たもの．吉田学園は学園全体の数字．保健看護は，フルに定員どおりになった場合の想定数字．専門学校は，全国専門学校の平均．国立看護は，某国立看護の参考数字.

全収入の中に授業料などの学生納付金が占める割合は，保健看護が90.6%，総合福祉96.4%，学園全体92.5%．補助金の割合は，保健看護が8.2%，総合福祉は1.9%と低く，吉田学園全体は5%で，いずれも補助金と納付金で98%程度がカバーされている．専門学校全体は納付金が80.8%，補助金比率が1.9%，その他が多いが事業収入や寄付金などが入っていることによる.

いずれにしても，保健看護の補助金比率が高いことがわかる．看護師の養成に対する補助が厚いといえるが，学生数が少ないことから，納付金の数字が伸びず，補助金の比率が高くなることも一因と考えられる.

私どもの経験でいうと，学生規模が300人を超えてくると，学校としての規模の利益を享受でき，効率がよくなる．当学園は本部に管理機能を集約することで，規模の効率化をより高めている.

国立の看護学校の場合は，生徒納付金が40.3%．これは，人件費を含む経費全体を分母にして，生徒の納付金の比率を出し，それで賄えないものを補助金比率としたので，他のケースと比率の出し方が異なるが，大よそ近い比率になっていると思われる．国立の場合は，学生か

学校法人吉田学園学園本部長 Yoshida Gakuen 本部長
Address for reprints：Masamichi Kimura General Manager, Yoshida Gakuen, South3 West 1 Chuo-ku Sapporo City, Hokkaido 060-0063 JAPAN
e-mail：kimura@yoshida-g.ac.jp
Received January 27, 2004
Accepted July 16, 2004

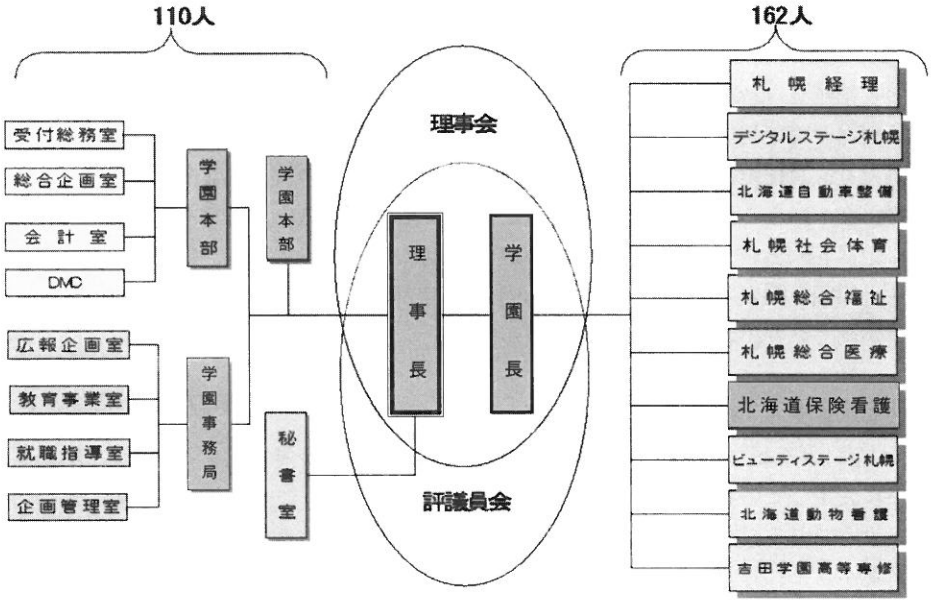

図 1 組織図

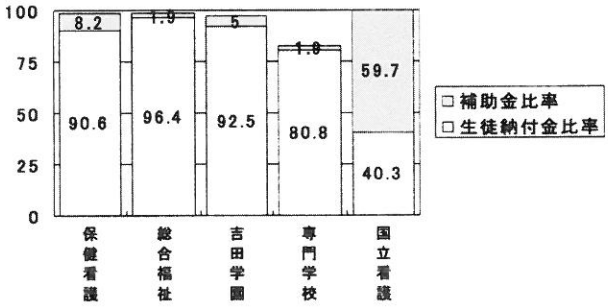

図 2

らの納付金が少なく，経費の半分も賄われていない．

図3は，収入全体に対して支出の割合をみたもの．人件費のウエイトが，専門学校の36.4%に対し，吉田学園全体が51.8%，保健看護が55.2%，総合福祉が29.5%となっている．他の専門学校に比べて吉田学園の人件費比率が高いが，当学園はリストラをしないという方針があり，当学園の教職員数は他の専門学校に比較して，常用雇用者の数が多いのが特徴．現在，学生数2,330人で教職員が270人だが，東京の某専門学校は，学生数7,000人で教職員数が100人を切っているところもある．教育研究費は保健看護も吉田学園全体も，専門学校の平均と大差ない．グラフの余白部分が利益や基本金の組入部分にあたる．総合福祉は，非常に良い形となっているが，こんなに儲かっているのではなく，本部経費が含まれていないのでこうなる．国立の場合は人件費の比率がかなり高くなっているが，中身が不明なので，原因はわからない．

図4は，教員1人当たりの学生担当数を見たもの．専門学校の平均数字が公表されていないため，吉田学園の中での数字となる．当学園の教職員数は他の専門学校と比べるとかなり多いので，全国的に見ると最低の水準に

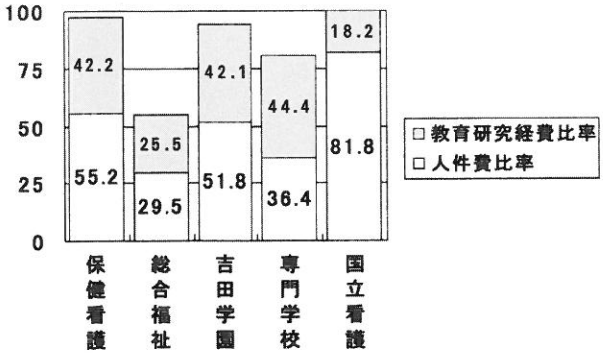

図 3

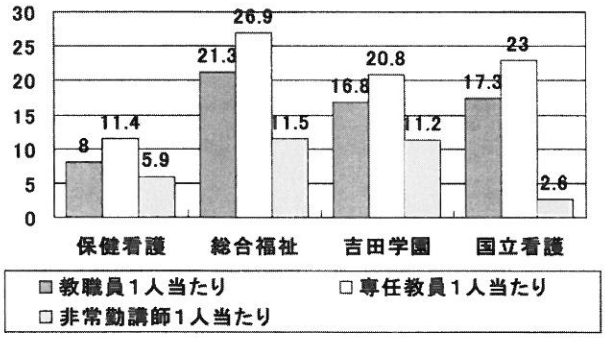

図 4

近いと思われる．その最低に近い水準で，教職員１人当たり，16.8人の学生数．教員だけで見ると，20.8人となっている．学生数の多い福祉は，教職員で21.3人．専任教員で27人弱．保健看護は，専任教員１人で11.4人．これは，同校が実習に当たり，専任の先生が同行することから，どうしても教員の数が増える傾向にあることにもよるが，学生数が入学定員40人という規模のため，効率が悪くなることが最大の原因．国立の看護学校は吉田学園全体よりもいい数字が出ており，規模のメリットを生かしている．

学生数や経費などを踏まえて，授業料を見ると，私どもの授業料は定員どおりに入ると，そこそこしっかりやっていけるという水準に設定している．これ以下だとかなり苦しくなるという設定である．授業料を見ると道内で最高になるが，実習費が含まれていることや入学金などトータルの水準でみると４年制のところはほぼ揃っているといえる．３年制のところは，110万円程度の設定になっているが，私どもも３年制の時はこの水準でやっていた．教員数が４年制に比べると３分の２から半分の人数でできるので，採算ラインはこの水準だと思われる．それに比べると，道立や国立の看護学校は極めて料金設定が低くなっており，独立法人化された後，授業料の設定が大きな課題といえる．

人事評価管理について

紙面の都合で割愛する．

（平成16年１月27日受付）
（平成16年７月16日受理）